

平成25年度第3回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 平成25年11月15日(金) 10:20～12:10
場 所 事務局第一会議室
出席者 上井学長、加藤理事、山口理事、池原理事、堀理事
佐々木委員、塩川委員、土肥委員、中井委員、丸山委員、吉岡委員
欠席者 福田委員
陪席者 檜枝監事、西田副学長、八木副学長、睦好副学長、伊藤教養学部長、齊藤教育
学部長、薄井経済学部長、佐藤理工学研究科長・工学部長、坂井理学部長

◎ 前回議事要録の確認

平成25年度第1回及び第2回国立大学法人埼玉大学経営協議会(平成25年6月27日開催及び書面審議)議事要録(案)の確認が行われ、了承された。

◎ 報告事項

1 科研費の応募状況及び獲得状況・比較分析について

山口理事から、科学研究費補助金の応募状況、及び本学の科研費獲得状況と他大学との比較分析について、配付資料に基づき、報告があった。

主な意見は次のとおり

○ 研究経費の配分方法について、科研費の申請に意欲のある教員には、経費の配分を手厚くする等を検討すべきではないか。

上記意見に対して、理事から、科研費に申請した場合、校費から一定額を研究費として配分していること、大型の科研費に申請した場合には、さらに上乗せして配分している等できるだけ研究意欲のある教員に学内の研究費を配分してきている旨、説明があった。

2 平成24事業年度財務諸表の文部科学大臣承認について

池原理事から、平成25年6月28日付けで提出した財務諸表について、承認された旨の報告があった。

3 保有資産の処分について

池原理事から、ときわ荘売却に係る契約状況及び今後の手続きについて、配付資料に基づき、報告があった。

4 埼玉大学の財務分析について

池原理事から、本学の財務分析について、年度ごとの比較及び同規模大学との比較について、配付資料に基づき、説明があった。

5 埼玉大学基金の設立について

学長から、「埼玉大学発展基金」を再構成し、新たに設立した「埼玉大学基金」の概要等について、配付資料に基づき、説明があった。

主な意見は次のとおり

- 「埼玉大学基金」の目的から考えて「埼玉大学基金支援会」のメンバーが日本人だけであることに少し違和感があった。卒業後活躍している留学生も多いと思うのでメンバーに加えてはどうか。

上記意見に対し、学長から、「埼玉大学基金支援会」のメンバーについては、今後追加する予定であり、その際には、留学生も加えていきたい旨、説明があった。

6 平成24年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

西田副学長から、平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果について、配付資料に基づき、報告があった。

◎ 審議事項

1 教職員給与規則の一部改正について

池原理事から、国家公務員の給与の改定に準拠し、55歳を超える教職員の昇給抑制を図るため、また、平成25年12月期の期末・勤勉手当の減額率の見直しを行うため、当該規則の一部を改正したい旨の説明があり、審議の結果、了承された。

2 早期退職制度の導入及び勸奨退職制度の廃止について

池原理事から、国家公務員の退職手当制度の改定に準拠し、早期退職募集制度の導入及び勸奨退職制度を廃止するため、当該規則の一部を改正したい旨の説明があり、審議の結果、了承された。

3 年俸制の導入について

池原理事から、大学改革の一環として研究力強化を図るため、戦略的研究部門に配置される一部の教員及びリサーチ・アドミニストレーターを5年以内の任期を付して雇用し、優秀な人材を確保するために、インセンティブを付与した給与体系の年俸制を導入する旨の説明があり、審議の結果、了承された。

なお、補助金が採択され次第、平成26年3月までに規則等の整備を行う予定である旨、説明があった。

◎ その他

1 国立大学のミッションの再定義について

加藤理事から、「国立大学改革に関する工程表」に基づき概要を説明後、教育学部及び工学部を中心に各学部のミッションの再定義の概略、今後のスケジュール等について説明があった。

2 強化戦略について

山口理事から、「学部の枠を越えた再編・連携による大学改革」に基づき概要を説明後、ミッションの再定義に基づく研究力及び人材育成の強化の概略、今後のスケジュール等について説明があった。

3 次回日程（平成26年1月16日（木））

学長から、開催時間については、改めて各委員の都合を調整したい旨の連絡があった。